

11月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成26年11月20日(木)午前9時30分から午前11時26分
- 2 場 所 宗像市役所本館3階第2委員会室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之
委員 川上美子
委員 中岡政剛
委員 官司葉子
教育長 遠矢修
- 4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、市民協働・環境部長福崎常喜、市民協働・環境部理事兼文化・スポーツ推進課長磯部輝美、子ども部長柴田祐治、教育部主幹指導主事齊藤智恵美、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事高木陽一郎、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長衣笠哲哉、子ども育成課長中野万由美、図書課長長谷川愼、郷土文化交流課長清水比呂之、世界遺産登録推進室長岩佐芳弘、教育政策課政策係長許斐知加、教育政策課政策係企画主査船越健樹、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子、総務部人事課主幹兼人事係長堤一成
- ※傍聴 なし

【井上委員長】 本日は追加議案があります。追加議案第37号から第39号については、報告事項の次に審議したいと思います。承認いただけますか。

【各委員】 はい。

5 前回(10/21定例)議事録の承認(資料1)

6 審議事項

① 議案第35号 宗像市史跡保存整備審議会委員の選任(案)について(資料2)

《選任》

【遠矢教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲30秒)

【郷土文化交流課長】 今回の任期満了に伴い、遺跡の整備の継続性という事から、知識経験者、教育関係者については再任という形をとりたいと思います。市民代表者に関しては、現在最終選考に入っており、11月30日までに選定を予定しています。12月12日に第1回の史跡保存整備審議会を予定しているため、11月の定例教育委員会議での審議後、市民代表者に関しては次回の12月定例教育委員会で報告したいと考えております。

【井上委員長】 議案35号について承認いただけますか。

【各 委 員】 はい。

② 議案第36号 宗像市文化財保護審議会委員の選任(案)について(資料3)

《選任》

【遠矢 教育長】 資料3参照。議事録なし。(▲30秒)

【郷土文化交流課長】 現委員の任期満了に伴いまして、それぞれの専門分野から新委員を選任します。

【井上 委員長】 議案36号について承認いただけますか。

【各 委 員】 はい。

7 協議事項

①宗像市スポーツ推進条例(案)及びスポーツ都市宣言(案)のパブリックコメントの実施について(資料4)

【文化・スポーツ推進課長】 スポーツ推進審議会へ諮問を行い教育委員会に答申がなされたものをパブリックコメントにかけるものです。2回の審議会と4回の策定部会の開催を経て原案がまとまっております。スポーツ推進条例については、理念条例となりますが、前文、目的、基本理念、それぞれの役割や市の責務を明確化しております。それと表彰規定も盛り込んだ条例となっております。スポーツ都市宣言については、スポーツで笑顔・元気都市宣言ということで、市民に親しみを持ってもらう事を意識して検討がなされた経緯があります。パブリックコメントについては、12月7日から1月14日までの39日間となっております。告知や閲覧場所については、これまでのやり方と同じです。スポーツ推進条例を策定している市町村は、県内にはございませんので本市が県内で最初に策定することになると思います。

【井上 委員長】 スポーツで笑顔・元気都市宣言というキャッチフレーズは、良いのではないかなと思います。

②宗像市学校教育基本計画(案)のパブリックコメントの実施について(資料5)

【教育政策課長】 パブリックコメントでいただいたご意見について精査し、適宜修正を加え、1月の定例教育委員会で報告したいと考えています。その後、2月から3月にかけて市内全小中学校に周知を図り、4月1日に施行したいと考えているところです。

【齋藤主幹指導主事】 今までに修正した部分を赤字で示しております。パブリックコメントで、いただいた意見を反映して最終的に決定する予定です。

【川上 委員】 39ページの特別支援教育について、前は、就学指導委員会の判定と異なる就学先に通う児童生徒が14%になっていたのですが、今回10%~15%と幅を持たせてるのは数年分のデータを鑑みてということでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 ここ数年で考えたときに、少し幅がありましたのでこの様な表現にしております。

【川上委員】 学校関係者からはどういうふうに意見を集約するのでしょうか。

【教育政策課長】 今回意見をいただいた完成版を各小中学校に配布しながらご意見を頂こうと考えております。

【川上委員】 学校関係者の意見は学校を通して委員会にあがってくるのですか。それともパブリックコメントの手続きを踏んで意見をいただくのでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 パブリックコメントの手続による意見提出もありますが、学校関係者からのご意見は校長先生を通じて教育委員会までお知らせいただくことも検討したいと思えます。

【中岡委員】 51ページの「より良い教育環境の整備」の項目の中で、「望ましい教育環境の整備をはかります」から「環境に配慮した施設整備を推進します」と文言がかわっておりますが、その違いを教えてください。

【教育部長】 庁内で計画案を調整するときに、子どもたちに望ましい環境を整備するというのは、エコスクールといった言葉を環境部門から強調して欲しいと要望がありました。国からもエコスクールへの取り組みの指示もございますので、言葉を入れ替えて、環境を強調した表現になりました。

8 報告事項

① 行政報告(資料6)

【遠矢教育長】 10月30日、31日に小中一貫教育全国サミットで姫路市へ行ってきました。各班にタブレットを1台使用した授業を行ってまいりました。また、文科省の前川審議官から小中一貫教育がよいよ来年度の国会で法律として上程されるという話がありました。来年度が第10回の記念大会となり奈良県と新潟県の2か所で開催されるそうです。11月14日に県下の全中学校校長を対象とした福岡県中学校校長研修会筑前大会がグローバルアリーナで開催されました。市長にも来賓挨拶をしていただきました。講演では東レ経営研究社長の佐々木常夫さんからワークライフバランスのお話がありました。11月16日に赤間西小学校30周年記念事業に参加した後、ユリックスでの「宗像秋の美術展」表彰式に参加してまいりました。中村研一さん琢二さんの「大きなくすのきの下」という展覧事業は毎年やっているそうですが、学校からの参加者が多くないため、来年はぜひお願いされました。17日の管内教育長会では、第1回の不祥事防止の検討委員会がありました。市町村でも事務局内に事前防止検討委員会を設置できないかとお話があり、設置を検討したいと考えております。

【井上委員長】 19日に福岡縣市町村教育委員会連絡協議会教育委員長研修会がリーセントホテルでございました。県の城戸教育長より、全国学力テストの結果及び体力調査の結果が、いずれも全国平均を下回っているため、各市町村教育委員会には、結果をしっかりと分析して地域や保護者に説明し、また、学力の低い層には習熟度別に徹底的に指導をお願いしたいというお話がありました。研修の内容ですが、「大野城市教育サポートセンターの取り組

みについて」という題で実践発表がありました。今年4月に大野城市の0歳から15歳の子どもたちのよりよい成長のために開設され、主に校長OBからなる教育専門部と臨床心理士及び社会福祉士からなる心理福祉専門部がジョイントしたサポートセンターの組織は全国で初めてだそうです。次に講演会ですが、現在中教審副会長である小川正人東京大学名誉教授から、「2014地教行法改正の背景、議論とこれからの教育委員会のあり方」と題して新しい教育委員会制度ができた経緯について詳しく説明をしていただきました。来年4月からの新しい教育委員会はどうあるべきかについて、教育委員の役割が重要であるとのことでした。すなわち教育委員は地域の教育熟議を喚起しリードするファシリテーターの役割を果たすことが求められているとのことでした。

②後援報告（資料7）

資料7参照 議事録なし

③宗像市第Ⅱ期小中一貫教育基本方針(案)について（資料8）

【齋藤主幹指導主事】 前回ご意見をいただいた第Ⅱ期の基本方針案について、67ページに第1次総合計画の文言が入っていましたが、第2次総合計画の文言である「元気を育むまちづくりに呼応し」と修正しております。

④平成25年度宗像市立小中学校の体力テストの結果について（資料9）

【正路指導主事】 全国平均を40～55で表したレーダーチャートです。落ち込んでいる部分も多く、各学年の傾向もあると感じられます。体力向上プランの作成を各学校で取り組んでおります。今後はプランを実践できているか、また児童生徒の体力向上につながっているかなど効果を検証する必要があると考えています。運動習慣の定着、体力向上の課題に応じた改善策の提案を委員会からしていく必要があると考えています。また、運動が苦手でも、必ずしも運動嫌いにつながっているとは考えられず、運動が苦手でも楽しみながら体力を向上していく取り組みを文化・スポーツ推進課とも連携しながら進めていきたいと考えています。

【川上委員】 経年変化を見たのですが、傾向としてはその学年の特性が表れていると思いました。子どもたちは毎年測定しているので個人で苦手種目などを把握しているのではないかと思うのですがどうでしょうか。

【正路指導主事】 体力テストの結果は、測定した時点で子ども自身が把握していると思います。一人ひとりが頑張りカードのようなものを作ることを奨励しています。自分の苦手なポイントを把握し、克服するための個人のプランを実践させる学校も増えています。

【川上委員】 小学校ではその取り組みの部分を学校の掲示物などで確認できますが、中学校に進学した時に取り組みは繋がっているのでしょうか。

【正路指導主事】 小中一貫教育の取り組みも学力向上では繋がりがあありますが、今後

は体力向上に関しても繋げていく必要があると思っております。担当者を中心に連携を進めていきたいと思っております。

【中岡委員】子どもたちの体を動かす時間が少なくなっているというのが体力低下の一番の要因ではないかと思っております。テレビやゲームに使う時間は多いのですが、外で体を動かす習慣がないようです。スポーツ推進計画と、児童生徒の体力向上を関連付けて、学校と地域・家庭での取り組みを広げて考えていかないと難しいのではないかなと感じました。

⑤平成26年度宗像市ALT配置事業調査報告について（資料10）

【正路指導主事】アンケート結果によると、小学生には海外の方々に対する苦手意識が低くなっているよう、中学校では、書き手の意向などを理解するとか、語彙力が向上するというのは感じ取りにくいようです。電子黒板等はリスニングで使え、ALTが不在時にとっても効果を発揮しています。小学校では「遊んでもらってうれしい」とか「廊下で声をかけて笑顔で英語返してもらえる」という事で、言葉が伝わる喜びを実感しているようです。今後も検証を続けながら、皆様に報告したいと考えております。

【川上委員】今回アンケートを取っていただいて、私たちが学校に行ったときに感じていることが数字に出てきています。吉武地区では、子どもたち、地域の方、ALTの先生の交流が活発で、本当にここは吉武なのかというぐらい驚いています。各学校にも紹介して、さらにALTを使って子どもたちの英語力向上に役立ててほしいと思います。

【井上委員長】27年度の計画というのはどのようなになっているのですか。

【教育部長】ももとのALT配置事業は各中学校区に1名という事で7名の配置をしておりました。今年度が新しい試みという事で、河東小学校と吉武小学校に配置しております。効果を検証したうえで次のステップに進みたいと考えております。ただし、時間を要する事業だと思っておりますので、数年は今の状態で事業を進めていきたいと思っております。

⑥平成26年度宗像市教育委員会事業の中間報告について（資料11）

【教育政策課長】中間時における進捗状況を報告するものです。これにつきましては事前に資料を配布しておりますので、内容説明は省きますが、青色がついている事業は平成26年度の評価委員会で評価の対象になる事業です。

【井上委員長】本年度も行われました小4を対象としました芸術鑑賞事業に教育委員も出席して鑑賞しましたが、本物の芸術に触れるという事で非常によかったと思います。マナーも子どもたちはしっかりできているなど感じました。子どもたちも喜ぶと思いますのでぜひ次年度以降も継続の検討をお願いします。

⑦宗像市子ども権利の日（11月20日）の取り組みについて（資料なし）

【子ども育成課長】本日11月20日は国連総会で児童の権利に関する条約が採択された日で、宗像市子ども基本条例でも子どもの権利の日と位置付け趣旨に沿う事業を行っており

ます。本日、市内小中学校で子どもの権利に関する授業を実施しています。学校によってはすでに実施済みのところや今後実施するところもあり、今年度は全学校すべてのクラスで実施していただきます。本日午前に条例の趣旨を周知するため街頭啓発を市内3つのJR駅前で、午後からは市内商業施設において実施します。本日以外の取り組みとしては子どもの権利及び児童虐待防止に関する講演会を11月29日に開催します。子どもプレーパーク事業を協働委託している、子ども支援ネットワークwithwindと要保護児童対策地域協議会との共催で、長崎女子短期大学学長の浦川末子さんをお招きし、子どもにやさしいまちづくりのために、今大人がしないといけないことを参加者と共に考える機会にしたいと考えております。11月3日に開催されました子どもまつりの中でも、子どもの権利相談室が、子どもの権利に関するクイズラリーを実施し多くの子どもたちが参加してくれました。

⑧ジビエ給食の実施について（資料12）

【学校管理課長】 本年2月から販売している地元で捕獲した猪肉「むなっ猪」を材料としてジビエ給食を来年1月26日に市内全中学校で実施するものです。新たな地場産物を広げる取り組みとして献立は、カレー、しし汁、生姜焼き等を考えており、栄養士が試食したところ思ったより柔らかく、臭みが少なかったということです。

⑨城山中学校改築基本方針策定検討委員会について（資料13）

【学校管理課長】 7名の委員から構成し、学識経験者からは福岡教育大学の学校経営学の有識者である鈴木先生を、地域コミュニティについてはそれぞれの会長で決まっております。城山中学校の保護者の代表もPTA会長あるいは母親代表という事で決まりました。

⑩次年度女子実業団駅伝大会について（資料なし）

【文化・スポーツ推進課長】 毎年12月に行われます全日本女子駅伝に向けて、東日本、中日本、西日本と3区域で予選が行われていますが、実業団駅伝連盟の方針変更に伴い、来年度からはこの3地区ではなく1箇所だけでの予選会になります。今年度の上位8チームにシード権を与え、残りは予選会の中で14チームの出場を認めることになります。開催場所については宗像福津コースに決定しました。今年の参加チームが12チームだったのですが、来年は28チームくらいになりますので、今までの市役所スタート・ゴールではなく、ユリックススタート・ゴールで警察と協議を進めているところです。中日本や関東からの応援者向けの宿舍確保など、できるだけ宗像に泊まっていたりするような誘致を商工観光課とも協議しながら進めていきたいと思っております。来年の状況を見て宗像・福津コースを継続的に開催するかというのが決まるようで、来年の取り組みが重要になります。

⑪第9回宗像市図書館を使った調べる学習コンクール事業報告について（当日配布資料）

【図書課長】 11月3日に表彰式を行いました。全小中学校から応募があり作品数

が増えていました。書き写しだけの作品もあり、今後の課題としては、さらに図書館を使って調べてもらう事と、参加していただける子どもや保護者を含めてどう支援したらよいかを、図書館担当の指導主事と協議して引き続き来年もたくさん展示したいと思います。なお出品数が多かったため、全国図書館振興財団にも昨年より多く出品できるようになっておりますので、またこの結果を報告したいと考えております。

⑫読書週間事業報告について（当日配布資料）

【図書課長】 当日配布資料参照。議事録なし（▲1分15秒）

⑬図書課福岡教育大学連携事業報告について（当日配布資料）

【図書課長】 昨年度に引き続き、寺岡先生の講座でユリックスの図書館の中のいくつかの部屋を使って絵本の選び方や利用状況を確認する内容で、私ども職員が学生に説明しました。受講生は初等教育教員養成課程の1年生の方25名でした。それから、11月12、13日に、鈴木章先生の司書教諭養成講座で2日間2コマずつ授業がありました。授業名は学習指導と学校図書館で受講者は約200名でした。学生からは、「図書館が、ただ本を読む場ではなくて、つながる場になっている気がした」とか、「妊婦から継続した読書支援が印象に残っている」というような意見がありました。福岡教育大学との連携事業として定着できるよう関係者と協議を進めていきたいと考えております。

⑭雑誌スポンサー報告について（資料14）

【図書課長】 資料14参照。議事録なし（▲30秒）

⑮小中一貫教育について（当日配布資料）

【高木指導主事】 10月30日に、各校の公開授業、その後、小中一貫教育全国連絡協議会に参加し、31日は分科会、全体会に出席しました。シンポジウム後は、共同宣言、閉会となりました。まず、中学校の公開授業ですが、さまざまな出前授業、小中学校双方の授業が行われていました。本市との違いに目を向けますと、小中学校の合同授業、同じ時間に小中学生が授業を受ける合同授業が行われていたこと、また、本市が導入しているものより小型のものですが、全教室に電子黒板が導入されタブレットの活用が行われていたことです。タブレットについてはグループで1台を使用しグループで検討した内容を電子黒板に写し、それぞれ子どもたちが検討するような内容で授業が行われていました。また、分科会についてですが、教育委員会の取り組みとして各中学校区に推進担当教諭を置き小中一貫教育を進めるといったような報告も非常に参考になりました。

⑯11月の学校の日について（当日配布資料）

【宮司委員】 東郷小学校、東海大学付属第五高校を訪問しました。まず東郷小学校

ですが、この週の土曜日が文化祭という事で子どもたちが活気づいていました。東海大学付属第五高校では、どの生徒も立ち止まって挨拶をしてくれました。学力はすごく大事なのですが、その前に、挨拶とか生活態度についても、親や周りの大人が声掛けをすることで子どもの規範意識が高まると感じました。

【中岡委員】自由ヶ丘小学校、自由ヶ丘南小学校を訪問しました。自由ヶ丘小学校では校長先生とお話をしました。校長先生によると、先生から協力してもらう事が非常に多く助かっており、また、地域、保護者から何事も協力支援をいただいているとの事でした。印象としては学校がとても明るく感じました。これは清掃活動あるいは教室内外の整理整頓がきちんとされていることと、教育環境に十分に配慮した掲示の工夫などが要因だと思いました。また、子どもたちが非常に明るく活発であると学校全体が明るいと感じるのだなと思いました。自由ヶ丘南小学校は、総合合同体育という事で、トヨタ自動車九州の陸上競技の監督それから選手と持久走をして子どもたちと共に活動していました。他の学校でもこういう活動ができたらなと感じました。

【川上委員】自由ヶ丘中学校、自由ヶ丘南小学校、赤間小学校を訪問しました。中学校の子どもたちの様子ですが、1, 2年生は姿勢もよく集中して授業を受けていました。3年生も若干気になる子はいるのですが、落ち着いて授業を受けている様子を見て安心しました。次に自由ヶ丘南小学校では、トヨタ自動車九州の選手と走っているときに、とてもにこにこしながら走っている姿が非常によかったと思います。赤間小学校では校長先生とお話をしながら子どもたちの様子を見ました。大規模校ですが、子どもたちは非常に生き生きして学ぶことが楽しくて仕方がないという授業風景をここそこに見ることができました。若い先生が多いのに、授業風景は非常に落ち着きながらも活気があるので、校長先生にどういった秘訣があるのか聞いたら、ベテランの先生が各学年に配置されノウハウを若い先生に伝え、実際に行動するのは若い先生にお任せして、ベテランの先生はフォローする仕組みを各学年取り入れているそうで、良い効果を生んでいるという事をお聞きしました。

【遠矢教育長】赤間西小学校を訪問しました。次の週が30周年記念式典という事で子どもたちが学年別ステージ発表の練習を一生懸命やっていました。大規模改修で教室がきれいになっていて、教室も明るくなって授業環境がかなり改善されているというお話を校長先生から伺ってまいりました。来年度は体育館を改修予定です。

【井上委員長】午前中に日の里中学校、自由ヶ丘中学校、自由ヶ丘南小学校、中央中学校と4校訪問しました。午後に玄海中学校を訪問しました。日の里中学校では、校長先生より少し問題のある生徒を校長室に呼びあらかじめ用意された「集中」と書かれた机の前に座らせ反省を込めて自習をさせているという事でした。ちょうど生徒が座った位置から歴代の校長先生の写真が見える状況にあり、効果抜群という話が校長先生からありました。それから授業を見ている感想で、若干心配のあった8年生が随分落ち着いてきた印象を受けました。自由ヶ丘中学校では、川上委員と一緒にになりまして、校長先生から現状についていろいろとお話を伺いました。授業参観ではどの学年も割と落ち着いた授業態度が見られていたと

いう事です。自由ヶ丘南小学校では中岡委員、川上委員と一緒にになりましたので省略します。中央中学校は、どの学年も落ち着いていました。玄海中学校は、ちょうど3年生の進路説明会で校長先生にお話を伺う事が出来なかったのですが、教頭先生に学校の現状についてお話を伺う事ができました。生徒は授業中も大変落ち着いて、聞く体制が整ってきており、少しずつよくなってきているというお話でした。

⑩福岡教育大学との連携事業について（資料15）

【田中教育連携コーディネーター】 ICT機器活用研修会を小中学校の先生を対象に行いました。先生方のICT機器の技術格差を埋めたい、また、小中一貫で行いたいという2つの目的を持って行いました。ICT機器の使用が苦手な先生方に照準を合わせた研修です。30枚の写真を、パワーポイントを使って一枚一枚スライドにしていくという事しかできなかった先生が、クリック一回で30枚のスライドができる技を古川先生から教わり、大変驚いていました。わからない先生は得意な先生に教えてもらいながら、最後は自分のプレゼン資料を作り上げていくことができました。来年度はICT機器の有効活用に向けて、機器を十分に使いこなせる先生を育成していくという事が必要ではないかなと感じた研修でした。こういう研修をプロジェクトのモデル校だけでなくいろいろな学校に広げていくことが今後大切なことではないかと思います。

⑪その他

・海の道むなかた館正月企画展について（当日配布資料）

【郷土文化交流課長】 当日配布資料参照 議事録なし（▲2分30秒）

【井上委員長】 冒頭に申した通り、本日、追加議案がありますので審議いたします。

9 追加議案

①議案第37号 宗像市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則(案)について
(追加資料1)

《承認》

②議案第38号 宗像市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則(案)について（追加資料2）

《承認》

【遠矢教育長】 追加資料1、追加資料2参照。市機構改編に伴う宗像市教育委員会事務局組織の改編に伴い、一部を改正するもので関連がありますので議案第37号、議案38号の審議を一括してお願いします。（▲30秒）

【教育政策課長】 現在の教育部は教育政策課、学校管理課、図書課の3課で構成されていますが、来年4月から、この3課に子ども部の子ども育成課と子ども家庭課が加わり、

「教育部」から「教育子ども部」に変更となります。教育子ども部長は、現在の教育部所管事務を、担当部長は子ども部所管事務と子ども育成課の中に新設するグローバル人材育成係も含めて統括します。

現在、子ども育成課が市長部局にありますので幼児教育に関する事項と青少年に関する事項については、補助執行機関として位置づけておりました。今回の機構改編により現在の子ども部が教育委員会となりますので、この規定を削除します。

【井上委員長】 機構改編で、子ども部と教育部が「教育子ども部」という名称で一緒になりましたが、4年前に「教育部」と「子ども部」に離れて心配しておりました。

【川上委員】 私も4年前に委員長と同じく教育部と子ども部に離れることには不安を感じておりました。やはり、教育を通して子どもを育てるという事を学校・地域・家庭と包括してみたいくうえでは今回の改編は非常にうれしく感じます。よりよく子どもたちが育っていくように願います。

【中岡委員】 幼児教育の部分からの教育というのが、学力や体力の向上に深く関わっていると思っておりますので、改編はいいのではないかと考えています。

【井上委員長】 来年4月から教育委員会制度が変わり、首長が主催する総合教育会議が、これまでの教育委員会定例会議とは別に位置づけられ、市長部局とのつながりというのが強くなりました。新しい教育委員会制度も考慮して改編されたのでしょうか。

【教育部長】 これまでの教育委員会としての事務は当然ながら行い、新たに市長の関わりも出てきますので、組織の中に反映させていこうと考えております。教育委員会制度改正に関する例規改正は、3月議会に議案の上程を予定しており、現在整理をしています。進捗状況については改めてお知らせしたいと思います。

【井上委員長】 議案37号、38号について一括して承認いただけますか。

【各委員】 はい。

③議案第39号 宗像市立学校児童生徒就学援助規則の一部を改正する規則(案)について (追加資料3)

〈承認〉

【遠矢教育長】 追加資料3参照。議事録なし(▲30秒)

【教育政策課長】 就学援助の支給対象学校と新入生が入学に必要な学用品購入費用の支給月を変更しております。(▲3分30秒)

【井上委員長】 議案39号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

【井上委員長】 次回の定例教育委員会は、12月24日午前9時30分から市役所本館3階301会議室で行います。

次回開催予定日 12月24日(水) 午前9時30分開始

平成 26 年 12 月 24 日

井上裕之

中岡政剛